



今年度を振り返ると・・・

今年度1学期の始業式で子どもたちにしっかり取り組んでほしいこととして、3つのことをお願いしました。この1年間を通して、どうだったか、私なりの総括をしてみました。

一つ目は、「あいさつを進んで行う」ということです。点数としては、100点満点中80点をつけたいと思います。子どもたちは、よく頑張りました。元気で明るいあいさつができる子がほとんどでした。鳥川小の子どもたちのよさは、「素直さ」です。その姿が、あいさつによく出ているのだと思います。しかし、満点にならない理由としては、自分から進んで行うところが今ひとつだったように思います。また、以前、交通教室の折に、母の会会長 丹治吉 様から、「あいさつはするけれど、もっと元気があるといいですね」とお話をされていたことがありました。これまで、「あいさつは心と心のキャッチボール」、「あいさつは笑顔の花の種になる」と呼びかけてきました。これからも人間生活の基本中の基本であるあいさつをしっかり取り組ませていきたいです。

二つ目は、「早寝・早起き・朝ごはん」(就寝時刻は9時。高学年でも9時半)でした。点数としては、100点満点中60点といったところでしょうか。今後もしっかり取り組む必要があります。特に睡眠時間の確保は重要です。このことは、何度も呼びかけてきました。昨年6月には、PTA教養講座で親子による講演まで開きました。しかし、「のれんに腕押し」のようにあまり改善された気がしません。(もちろん、しっかり取り組んでいるご家庭もあり、それは素晴らしいことです。)

昔から「寝る子は、育つ!」といわれます。そのとおりだと思います。十分睡眠をとっている子は、日中元気に活動ができます。当然、勉強にも身が入ります。

このような基本的な生活習慣を身に付けることは、家庭教育として、保護者の方々の責務でもあります。しっかりとした生活習慣を身に付けさせていきたいです。

三つ目は、「継続は力なり」でした。点数としては、100点満点中80点をつけたいと思います。とつてもよいと思います。勉強でも運動でも何でもそうですが、学んだことを確実に自分のものにするには、繰り返し練習することが大切です。少しずつでよいから、粘り強くあきらめずに、できるまで続けることが大切です。そのことは、学校生活のいろいろな場面で子どもたちは証明してきました。計算や漢字などの習得、水泳大会・マラソン大会・なわとび大会などでの運動能力の向上、学習発表会や鼓笛の練習などなど。しかし、満点とはしませんでした。それは、場合によっては、途中であきらめたこともあったように思うからです。もう少し続けていればできたのという場面がたくさんあったことも確かです。今後も「継続は力なり」を子どもたちに心がけさせていきたいです。

以上、3つの観点から今年度を振り返ってみました。あくまでも全体的に見ての私なりの総括です。当然、子どもによって個人差があることは付け加えておきます。